

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなで作る未来型図書館 ニュースレター vol.3

令和3年度は「市民とともに創る未来型図書館」を目指して調査研究を進めてきました。令和4年度は基本構想の策定など、未来型図書館をより具体化していきます。今後も是非、みなさまのお声をお聞かせください。

つながるミーティング

2月20日(日)に、まちライブラリー提唱者の磯井純充様と映画監督・作家の山元加津子様を講師に、つながるミーティングをオンラインで開催し、46名が参加しました。はじめに磯井様より、本で人とまちを変える、本でつながることをテーマにした「まちライブラリー」について人の顔の見える関係性をどう作っていくか、カフェやお寺、公園、小学校、家や街角、商業施設、公共図書館などでの千差万別に広がっている事例を紹介いただきました。山元様からは、みんなの幸せのために図書館がどういうことができるか、いつもここに来たいと思えたり、市民が運営に関わることができ、それに伴ってまちの活性化につながっていく視点が大切であるというお話をいただきました。対談講演の後は、6グループに分かれて「①自分の生活をより良くするために新しい図書館はどうなったらいいか」「②新しい図書館づくりを通じて自分がどのように関わられるか、実現・挑戦してみたいこと」の2つのテーマについて議論を行い、発表いただきました。磯井様・山元様からの講評では、今日のような活動は図書館ができるまで待つ必要はなく、こうした盛り上がった気持ちを無駄にせず、話し合いを続けていけたらよいとの提案で締めくくられました。

今後は市民のみなさんが「自分事」として図書館づくりを考えることができる機会やパートナー組織を築いてまいります。



磯井 純充さん 山元 加津子さん



たくさんの応募
ありがとうございます！



子どもたちの絵画展

令和3年11月～令和4年1月に行った子どもたちからの未来型図書館に関する絵画作品の募集では、250点を超える作品の応募がありました。

3月20日(日)～31日(木)には、市民ギャラリー「ルフレ」にて作品展を開催しました。子どもたちの夢や希望あふれる素敵な作品は、現在も図書館HPでご覧いただけます。



今回の絵画募集では、自然・動物を題材にした作品が多く寄せられました。この子どもたちの想いを図書館づくりに活かすため、第1弾として現市立図書館内に「アニマルライブラリー」がオープンしました。みなさん、是非お越しください！



みんなで作る未来型図書館

リレーエッセイ

第3回目は横山教育次長です！

小松市教育委員会で社会教育を担当している横山昭博です。未来型図書館づくりがスタートして1年となりました。その中で、「現在の図書館運営でできていないことが、どうやって新しい図書館で実現できるのか」という疑問があり、「今から」「できることから」やっていこうということで、館長や司書の方たちと一緒に継続的な改善活動に取り組んでいます。館内の装飾やサインの見直しによる訪れやすい雰囲気づくり、興味を引く図書の展示やお薦め本の紹介、職員はもとよりボランティア団体とも連携したおはなし会の企画など、一人一人が来館者や関係者の声を聞きながら、アクションを起こしています。「最近、図書館の雰囲気が変わったね」と言われることも多く、小さな気づき、改善の連鎖の積み重ねの努力が図書館の魅力アップにつながっていくと感じています。

さらに、今年度は、基本構想づくりと併行して、企画・運営を支える人材育成講座も開催します。一人一人が新しい図書館がどうあるべきかについて学ぶとともに、学んだことを実際に行動に起こして変化を起こしていけるよう、「共に前進」していきましょう。



横山教育次長

お知らせ

①『未来型図書館のあり方に関する調査研究報告書』が完成しました！

令和3年度の調査研究状況について報告書としてとりまとめました。図書館HPや図書館内でご覧いただけます！

②4月より教育委員会生涯学習課内に「未来型図書館づくり推進チーム」が発足！



頑張ります！

図書館HP



みんなで作る、みんなで作る未来型図書館へ